

2. 11 「建国記念の日」を問う広島集会

「建国記念の日」は「国民の祝日に関する法律」では、「建国をしのび、国を愛する心を養う。」とされています。「国を愛する心を養う」ことに関して、戦前、そして現行の日本国憲法下においても天皇制の影響を強く受けてきました。

「国際平和文化都市」を謳って来た広島市においては、松井一實市長が着任してから毎年、新任職員研修において、「教育勅語」を引用していることが明らかとなりました。また、「平和ノート」から「はだしのゲン」の記述が削除され、広島平和記念公園とパールハーバー公園（実際には、軍事施設）との「姉妹協定」締結など、「国際平和文化都市」と逆行することが続いています。そのような広島市の平和行政について、広島市立大学国際学部教授の湯浅正恵さんにお話しいたします。

ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時：2025年2月11日(火) 14:00~16:00

場所：広島カトリック会館多目的ホール

世界平和記念聖堂横（広島市中区幟町4-42）

講演「国際平和文化都市」の平和を考える

講師：湯浅正恵（ゆあさまさえ）さん

（広島市立大学国際学部教授、日本福音ルーテル広島教会会員

広島パレスチナともしび連帯共同体メンバー）

資料代：500円



【講師紹介】湯浅正恵さん



広島生まれ。広島大学教育学部心理学科卒。中国放送ラジオ局で働いた後に渡英。英国立シェフィールド大学国際学修士・博士号取得。広島市立大学国際学部で開学以来教育研究に携わる。現在は国際学部・国際学研究科教授。日本社会学会、平和学会会員。近著は以下 Challenging Nuclear Pacifism in Japan: Hiroshima's Anti-Nuclear Social Movements [日本における核平和主義への挑戦：広島の反核社会運動] 2024, Routledge. 「『黒い雨』問題とはなにかー『科学的な線量推計』を中心にー」田村和之・竹森雅泰編『原爆「黒い雨」訴訟』本の泉社

2023年。「広島市平和推進基本条例と『ヒロシマの心』」宮崎園子監修『「平和都市」ヒロシマのまがりかど』2024年など。

【共催】

日本基督教団西中国教区広島西分区（連絡先：TEL082-291-5847、広島観音町教会・塩見）

カトリック広島司教区正義と平和推進デスク（連絡先：TEL082-221-6613、担当者：神垣）

広島市キリスト教会連盟（連絡先：TEL082-241-3695、日本福音ルーテル広島教会・立野）